

■竹本摂津大椽 義太夫節の太夫。品格と美声に恵まれ、明治期最高の名人とされるに至った。

たけもとせつつのだいじょう

・ ・ ・ ・ ・ 1836＝ 大坂で順慶町の塗物問屋の子に生まれ、二見伊八の養子となる。

大塩平八郎乱 1837＝ 1歳：

阿部正弘首座 1845＝ 9歳：

＿はじめ竹沢竜之助について、三味線の手ほどきを受け、

＿後に3代半鶴沢清七、

＿さらに、3代野沢吉兵衛についたところ、

ペリー来航・ 1853＝17歳：

開国開港・ ・ 1854＝18歳：

＿その美声を吉兵衛に注目されて、

蕃書調所・ ・ 1857＝21歳： 5代竹本春太夫に入門、

桜田門外変・ 1860＝24歳： 吉兵衛の父の名を貰って2代竹本越路太夫を襲名。吉兵衛の三味線で江戸に出勤したが、

生麦事件・ ・ 1862＝26歳： 吉兵衛と死別し、

8月18日政変 1863＝27歳： 帰坂。

薩摩藩士密航 1865＝29歳： 文楽座で代役をつとめて認められ、

明治維新・ ・ 1868＝32歳： 維新後、人気が一層高まって重用され、

初の日刊新聞 1870＝34歳： *太夫最高位の切場語りとなり、

学問のすすめ 1872＝36歳：

明治6年政変 1873＝37歳：

西南戦争・ ・ 1877＝41歳： *名人2代豊沢団平を相三味線にむかえると、一躍人気が高まり、

明治14年政変 1881＝45歳：

岩倉具視没・ 1883＝47歳： *異例の若さで文楽座の座頭(槽下)になると、東京で人気を集め、帰阪して彦六座と対抗する。

秩父事件・ ・ 1884＝48歳： 文楽座が松島から大阪の中心地・霊神社境内に移る。

＿彦六座が団平を引きぬき文楽座に対抗してきたので、彦六座より5代豊沢広助を相三味線に迎え、人形遣い初代吉田玉造とともに三人紋下として文楽座を支えた。文楽・彦六両座の競合は人気をよび、人形浄瑠璃の黄金期を現出した。

帝国憲法発布 1889＝53歳：

帝国議会始・ 1890＝54歳：

日清戦争始・ 1894＝58歳：

日清戦争終・ 1895＝59歳：

Bushidou・ ・ 1899＝63歳：

日比谷公園・ 1903＝67歳： 6代竹本春太夫を襲名後、摂津大椽の名を受領。「妹背山」「先代萩」「本朝廿四孝」などを竹本越路太夫(3代)らと語り、75日間大入りという人気を博した。

日露戦争終・ 1905＝69歳： 日本蓄音機製造が設立される2年前に、おそらく来日技師によって、レコード録音。

アララギ 創刊・ 1908＝72歳：

明治天皇没・ 1912＝76歳：

大正政変・ ・ 1913＝77歳： *「楠音嘶」の徳太夫住家の段を最後に引退し、

ロシア革命・ 1917＝81歳： 没した。